

みんなで支える「ひろしまの森」づくり

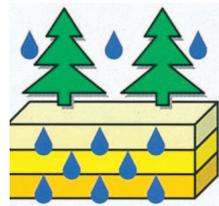
今年度から「ひろしまの森づくり県民税」の導入により、市では新たな森づくりに取り組みます。

県土面積の72%が森林の広島県に住む私たちは、森林からさまざまな恵みを受け、地域に根ざした文化をはぐくんできました。しかし、林業の生産活動の停滞や農山村の過疎化などから、手入れ不足の森林が増加しています。放置しておくと、森林の働きが低下し、災害を誘発することにもなりかねません。

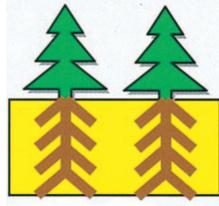
これからは、森林を手入れして、森林の役割を最大限に発揮させながら、安らぎと潤いのある生活を維持し、次の世代に引き継いでいく必要があります。

森林はこんなことに役立っています

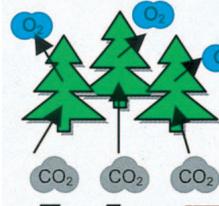
森林は土砂災害を防いだり、私たちの飲み水をきれいにするなど、私たちの暮らしに大切な働きをしています。



水源のかん養機能
雨水を貯留することで洪水や濁水を緩和し、その過程で水質を浄化します。



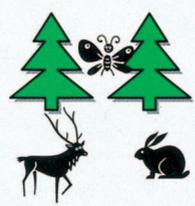
土砂災害の防止
樹木の根や地表を覆う落葉・下草により、土砂の流出や崩壊を防止します。



地球温暖化防止機能
大気中の二酸化炭素を吸収し、幹や根などに貯蔵します。



保健休養機能
森林浴、キャンプなどの場を提供することで、人に安らぎを与えます。



生物多様性保全機能
多種多様な野性生物に生息・生育の場を提供します。

しかし現在、手入れ不足の森林が増えています

人工林では、スギやヒノキなどの人工林の多くが放置されているため、間伐(木の育成を助けたり、採光を良くしたりするために適当な木を伐採すること)を必要としています。



このまま放置すると

里山林では、人家に近いところは薪炭材の採取などがされなくなり、手入れ不足の森林が増加しています。



災害などにより山腹崩壊や森林の風倒被害につながります。

市では、元気な森づくりに取り組みます

人工林の対策

間伐・混交林(針葉樹と広葉樹の混ざった林)となるように、放置林の健全化、風倒木の処理などを実施します。防災機能の向上を目的とした簡易な防災施設の設置もします。



間伐された人工林



針葉樹と広葉樹の混交林

里山林の対策

手入れが不十分な里山林では、土砂災害防止、鳥獣被害防止、自然のふれあいを目的とした森林整備を実施し、森林ボランティア活動の促進、里山の生活環境や自然環境の保全を図ります。



手入れされた里山林



森林ボランティアによる里山林整備

問い合わせ先 農林水産課 (☎0848⑥76081 FAX0848⑥4103)